

剣岳にチャレンジ

- ㊦ よい心と体をつくろう。
- ㊦ ルールを守り、仲間を思いやろう。
- ㊦ もんを出し合い、よく考えよう。

☆コロナ禍（第6波）の中での学校行事☆

校長 廣 島 晃

令和4年（2022）・寅年（とら年）が始まりました。職員一同、力を合わせて一人一人の子供を大切にして教育活動に取り組みますので、本年も、昨年同様のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

さて、昨年末は、コロナ禍がかなり収まり通常の学校生活を取り戻しつつありましたが、年明けからオミクロン株の感染が一気に拡大し、再び学校生活や社会生活に影響を及ぼすようになってきました。本校でも、3学期に予定されていた宿泊学習（1月-6年、2月-5年）は、就寝時や入浴時にマスクを外すことが多く感染の危険性があることを考慮し、中止しました。

なお、「スキー学習・スノーフェスティバル」「学習参観」など、今後の学校行事につきましては、「手洗い・うがい」、「マスクの着用」、「3密回避」などの感染症対策をしながら、できるだけ実施したいと考えていますが、感染状況によっては中止や縮小する場合がありますので、ご理解をお願いします。

【校内かるた大会】 ※1・2年…犬棒かるた 3年以上…百人一首

本校では、例年、1月中に校内かるた大会を行っています。昭和の時代から続いている行事なので、保護者の方々の中にも「小学生のころやったよ」「大会で優勝したよ」という方がいらっしゃるのではないかと思います。

犬棒かるたや百人一首を覚え、競技することにより、子供たちに次のような効果があるのではないかとされています。

- ① 脳が活発に働き、記憶力が向上する。
- ② 日本の文化を理解し、歴史や古典に興味を持つ。
- ③ 家族で楽しむことで、絆が深まる。



さて、今年も各学年で白熱した大会が行われているところです。これを機会に、ご家庭でも冬の娯楽の一つとしてかるたに取り組んでみてはいかがでしょうか。